

室蘭市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート
< 単純集計概要報告書 >

株式会社ぎょうせい

調査概要

- (1) 調査地域
室蘭市全域
- (2) 調査対象
平成 25 年 12 月 16 日時点での室蘭市住民基本台帳に登録されている
就学前児童・小学生児童が属する世帯
- (3) 標本数
未就学児童 1,035 (保育所 272、無作為抽出 763)
小学生児童 1,121
- (4) 調査方法
未就学児童が属する世帯...無作為抽出及び市内保育所 (東町・ほくと・白鳥を選定) で直接
配布。
回収は無作為抽出については郵送、保育所は市が直接回収。
小学生児童が属する世帯...学校 (桜が丘、武揚、天沢、知利別、水元、本輪西、本室蘭を選定)
を通じての配布、郵送にて回収。
- (5) 調査期間
平成 25 年 12 月 20 日 (金) ~ 平成 26 年 1 月 9 日 (木)

回収結果

	標本数	有効回収数(回収率)
未就学児童が属する世帯	1,035	511 (49.4%)
小学生児童が属する世帯	1,121	387 (34.5%)

就学前児童調査報告

お子さんとご家族の状況

- ・回答者の91%が母親。
- ・回答者の88%は配偶者がいる。
- ・子育てを主にしている人は、58%が父母両方、38%がおもに母親がしている。

保護者の就労状況について

- ・父親の約86%がフルタイムで就労し、母親は26%がパート・アルバイト等、25%がフルタイム。
- ・パート・アルバイト就労している父親はフルタイムへの転換を希望しており「実現の見込みがある」及び「実現は難しいと考えている」が同数の33%。また母親は、55%が今後も続けたいと考えている。
- ・就労していない父親は50%が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と考えている。また就労していない母親のうち48%が、「一番下の子どもが成長したら就労したい」と考えている。そのうち、32%の母親が一番下の子どもが7歳以上になったら就労したいと考えている。
- ・現在就労していない父親の就労希望は、フルタイムとパート・アルバイトが同数の33%だった。また、母親が今後希望する就労形態は67%がパート・アルバイトだった。

平日の定期的な教育・保育事業について

- ・幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業を、「利用している」は69%だった。利用している施設は認可保育所が60%、幼稚園が29%で、利用者の73%が週5日利用している。
- ・利用している教育・保育事業の場所としては、98%が室蘭市内だった。
- ・今後の利用意向としては、94%の人が「利用したい」意向で、94%の人が室蘭市内を希望している。
- ・他市町村で利用したい理由としては、「勤務先がある」が36%だった。
- ・教育・保育事業を利用していない理由は、「子供がまだ小さいため」が45%で、利用したい年齢としては「3歳」が56%だった。
- ・定期的に利用したい事業は、認可保育所が55%、幼稚園が54%、幼稚園の預かり保育が31%、認定こども園が16%などとなっている。
- ・子育て支援事業の利用状況では、「地域子育て支援拠点事業を利用したことがある」が46%で、94%が室蘭市内での利用だった。
- ・子育て支援事業の利用希望では、病児・病後児保育が43%、地域子育て支援拠点事業が40%だった。

地域の子育て支援事業について

- ・地域子育て支援拠点事業は、76%の人が利用していない。「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」人が62%だった。また「利用していないが、今後利用したい」人は、21%だった。

土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について

- ・土曜日の定期的な利用は、「利用する必要はない」が57%、「月に1~2回利用したい」が23%だった。
- ・日曜・祝日の定期的な利用は、「利用する必要はない」が75%、「月に1~2回利用したい」が17%だった。
- ・幼稚園を利用している人のうち、夏休みや冬休みなどの長期休暇中は「利用する必要はない」が15%、「週に数日利用したい」が10%だった。

病気やケガの際の対応について

- ・定期的に教育・保育事業を利用している人のうち、46%の人が病気やケガで利用できなかったことがあった。その場合の対処方法としては、「母親が休んだ」が77%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が48%、「父親が休んだ」が22%だった。
- ・病児・病後児保育施設の利用に関しては、「利用したい」55%、「利用したいと思わない」が42%だった。利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が55%、「他人にみてもらうのは不安」31%だった。

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

- ・教育・保育事業の不定期利用については、82%の人が利用していない。利用希望では、51%の人が「利用する必要はない」、43%の人が「利用したい」と考えている。
- ・利用したい理由としては、「冠婚葬祭や通院などのため」が72%、「買物などの私用やリフレッシュのため」が66%だった。
- ・子どもを泊りがけで家族以外の人に預けた機会は、76%の人が「なかった」と多数を占めた。「あった」と答えた人は22%だった。預けた人の対処方法としては「親族・知人にみてもらった」が83%と多数を占めたが、「子どもだけで留守番させた」が少数だが2%あった。

小学校就学後の放課後の過ごし方

- ・ 低学年の放課後の過ごし方としては、「自宅」が16%、「児童クラブ等」15%、「習い事」14%などだった。
- ・ 高学年の放課後の過ごし方としては、「自宅」が13%、「習い事」が11%、「児童クラブ等」は6%に減少している。

家庭の子育てと子育て環境

- ・ 父親の育児に参加については、「よくしている」が45%、「ときどきしている」37%だった。
- ・ 家事の分担においては、「男女がたがいに協力し分担して行うべき」と考えている人68%で多数だが、17%は「どちらかといえば女性が行うべきである」と考えている。
- ・ 子育てに関する負担については、50%の人が「やや不安や負担を感じる」と答えている。35%の人が「あまり不安や負担を感じない」だった。
- ・ 子育てに関する悩みとしては、「経済的な不安・負担」33%のほか、「自分の時間を持ってない」が28%、「子どもの勉強や進学」25%、「子育てで疲れる」22%、「子どもとの時間が十分もてない」21%だった。また、14%の人が「特にない」と答えている。
- ・ 子育てをする上で近所や地域に望むことでは、「子どもが危険な目にあいそうなときは助けや保護をしてほしい」が75%、「子どもが良くないことをしているのを見たら注意してほしい」が57%、「子ども連れで交通機関や施設を利用するときに困っていたら手助けしてほしい」が31%、「出会ったときに声をかけあうなど子どもにかかわってほしい」が27%だった。
- ・ 地域の子育て環境としては、「まあまあ子育てしやすいと思う」が45%である。
- ・ 室蘭市の子育て環境や支援の満足度は、「3」が38%、「2」が30%、「4」が14%、「1」が13%だった。
- ・ 室蘭市の子育て支援に期待することでは「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が71%、「保育所や幼稚園にかかる費用を軽減してほしい」が61%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」が32%、「親子が安心して集まれる身近な場所・イベントの機会がほしい」が25%、「企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が19%などだった。

小学生調査結果

お子さんとご家族の状況について

- ・ 回答者の約 92%が母親。
- ・ 回答者の 85%は配偶者がいる。
- ・ 子育てを主にしているのは、「父母両方」が 56%、「おもに母親」が 40%。

保護者の就労について

- ・ 父親はフルタイムが 84%、母親は 33%がパート・アルバイト、26%がフルタイム。
- ・ 約 8 割が日常的または緊急時に子どもをみてもらえる「祖父母等の親族」がいる人おり、「知人・友人」がいる人は約 20%だった。しかし 14%の人は「いずれもいない」と回答している。
- ・ 祖父母等の親族に子どもをみてもらう場合、56%の人は「安心してみてもらえる」としているが、28%の人は「心苦しい」と感じ、20%の人は「身体的負担」を心配している。
- ・ 友人・知人に子どもをみてもらう場合、55%は「安心してみてもらえる」としているが、23%の人は「心苦しい」と感じている。
- ・ 子育ての上で 87%の人が「気軽に相談できる人がいる」と答え、相談先としては友人・知人及び祖父母等親族が同数の 81%、学校の先生 31%などとなっている。

放課後の過ごし方について

- ・ 児童クラブ等の利用状況は 65%が「利用していない」、「利用している」は 34%だった。
- ・ 利用者の 40%が週 5 日利用し、利用の理由としては「現在就労している」が 85%だった。
- ・ 児童クラブ等の日曜の利用に関しては、「利用は考えていない」が 74%だった。
- ・ 今後の児童クラブ等の利用意向は、「今後も利用しない」が 78%で、「利用したい」は 22%だった。利用したい理由としては、「就労予定がある / 求職中である」38%、「現在就労している」29%だった。
- ・ 低学年のお子さんがある方の 4 年生以降の放課後の過ごし方として、「児童クラブ等」が 30%「クラブ活動などの習い事」が 25%、「児童館」が 24%だった。また、小学 6 年生まで「児童クラブ等を利用したい」が 77%、「児童館を利用したい」も 77%だった。
- ・ 小学生の子ども全体の放課後の過ごし方は、「友人と遊ぶ」が 50%、「習い事」が 33%、「家で家族と過ごす」が 24%、「児童クラブ等」が 20%だった。

家庭の子育てと子育ての環境について

- ・ 父親の子育てへの参加は、「よくしている」が 38%、「ときどきしている」が 37%。
- ・ 家事の分担においては、「男女がたがいに協力し分担して行うべき」と考えている人 67%で多数だが、16%は「どちらかといえば女性が行うべきである」と考えている。
- ・ 子育てに関する不安や負担については、「あまり不安や負担を感じない」が 44%、「やや不安や負担を感じる」が 40%だった。
- ・ 子育ての悩みとしては、「子どもの勉強や進学のこと」が 53%だった他、「経済的な不安・負担が大きい」が 36%、「子どもとの時間を十分にもてない」16%、「自分の時間を十分にもてない」16%、「子どもの知的・精神的な発育」16%などだった。また 13%は「特にない」と回答している。
- ・ 地区の子育て環境としては、「まあまあ育てやすいと思う」が 52%だった。
- ・ 子育てをする上で近所や地域に望むことは、「危険な目にあいそうなときは手助けや保護をしてほしい」が 78%、「子どもが良くないことをしているのを見かけたときは注意してほしい」が 74%、「出会った時に気軽に声をかけあうなど、子どもにかかわってほしい」が 31%だった。
- ・ 室蘭市の子育て環境や支援の満足度は、約 45%がおおむね満足と。中庸が、約 4 割となっている。
- ・ 室蘭市の子育て支援に期待することは、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が 59%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備」が 47%、「保育所や幼稚園にかかる費用を軽減してほしい」が 28%、「親子が安心して集まれる身近な場所、イベントの機会がほしい」が 24%、「企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が 17%だった。

以上